作成日：　2012 年 12 月 12 日
改訂日(V.2)：　2013 年 2 月 4 日

# 製品安全データシート

## １．製品及び会社情報

製品名：　**ムソウ豆つぶ２５０**

会社名：　日本農薬株式会社
住　所：　〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋ＯＭビル
担当部門：　環境安全部
TEL. 03-6361-1426,　FAX. 03-6361-1451
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号：(平日)　03-6361-1426（環境安全部）
(休日、夜間)　04-2929-8961（ＡＬＳＯＫ）

推奨用途及び使用上の制限：農薬（除草剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可
ＭＳＤＳ番号：　５３３－０４(Ｍ１２－３１)

## ２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

| | | |
|---|---|---|
| 物理化学的危険性 | 自然発火性固体 | 区分外 |
| | 可燃性固体 | 区分外 |
| | 水反応可燃性化学品 | 区分外 |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口) | 区分外 |
| | 急性毒性(経皮) | 区分外 |
| | 皮膚腐食性／刺激性 | 区分外 |
| | 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 | 区分２Ｂ |
| | 皮膚感作性 | 区分外 |
| | 生殖毒性 | 区分２ |
| | 特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） | 区分外 |
| | 特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） | 区分２（血液、腎臓） |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性（急性） | 区分１ |
| | 水生環境有害性（慢性） | 区分１ |

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示




注意喚起語　警告

危険有害性情報
眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
長期または反復暴露による臓器（血液、腎臓）の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】

- 使用前に取扱い説明書を入手し、安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 取り扱い後はよく洗うこと。

■ 粉じんを吸入しないこと。
■ 環境への放出を避けること。
■ 指定された個人用保護用具を着用すること。

【対応】

■ 眼に入った場合、直ちに清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続けること。
■ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
■ 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
■ 気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
■ 漏出物を回収すること。

【保管】

■ 施錠して保管すること。

【廃棄】

■ 内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

## ３．組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：

1) (*RS*)-2'-[(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)(ヒドロキシ)メチル]-1,1-ジフルオロ-6'-(メトキシメチル)メタンスルホンアニリド　／ 一般名：ピリミスルファン
2) 2-ベンゾチアゾール-2-イルオキシ-*N*-メチルアセトアニリド　／ 一般名：メフェナセット

| | | |
|---|---|---|
| 成分及び含有量： | ピリミスルファン | 2.0% |
| | メフェナセット | 40.0% |
| ＜その他＞ | 鉱物質微粉　等 | 58.0% |

化学式：　$C_{16}H_{19}F_2N_3O_6S$　／ ピリミスルファン
$C_{16}H_{14}N_2O_2S$　／ メフェナセット

官報公示整理番号：安衛法　8-(7)-827　メフェナセット

CAS No.：　221205-90-9　／ ピリミスルファン
73250-68-7　／ メフェナセット

## ４．応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。
メフェナセットの皮膚症状には、抗炎症剤の投与が有効である。

吸入した場合：　被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。
メフェナセットによる中毒の対応として、胃洗浄、メトヘモグロビンの防止にはアスコルビン酸の投与、又は、１%メチレンブルー溶液の静注が有効である。

## ５．火災時の措置

消火方法：　初期の消火には粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：　水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

## ６．漏出時の措置

作業者に対する注意：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
環境影響に対する注意：流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
流出物の処理に対する注意：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

## ７．取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意：　直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

## ８．暴露防止措置

管理濃度：　設定されていない。
許容濃度：　日本産業衛生学会及びＡＣＧＩＨのいずれも設定されていない。
設備対策：　取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。
有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。
保護具　呼吸用保護具：防塵マスク、簡易防塵マスク
保護手袋：ゴム手袋
保護眼鏡：普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型
保護衣：作業着、帽子、保護服

## ９．物理的及び化学的性質

外観等：　類白色粒状
臭い：　データなし
pH（5 倍希釈液）：9.0(参考値)
融点・凝固点：　データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲：データなし
引火点：　非引火性
発火点：　データなし
燃焼性：　データなし

燃焼又は爆発範囲：データなし
蒸気圧：　データなし
蒸気密度：　データなし
蒸発速度：　データなし
密度・比重：　0.32（参考値）
溶解度：　データなし
オクタノール／水分配係数：　データなし
分解温度：　データなし
粘度：　データなし

## １０．安定性及び反応性

安定性：　通常の保管環境下で安定
危険有害反応可能性　：データなし
避けるべき条件：データなし
混触危険物質：　データなし
危険有害な分解生成物：データなし

## １１．有害性情報

急性毒性（経口）：ラット（♀）　LD50　2000 mg/kg 以上　（区分外）
急性毒性（経皮）：ラット（♂・♀）　LD50　2000 mg/kg 以上　（区分外）
急性毒性（吸入：蒸気）：関連するデータなし　（分類できない）
急性毒性（吸入：粉じん）：関連するデータなし　（分類できない）
皮膚腐食性／刺激性：ウサギ　刺激性無し　（区分外）
眼に対する重篤な損傷／刺激性：
ウサギ　軽度刺激性　（7 日以内に回復、区分 2B）
呼吸感作性：　関連するデータなし　（分類できない）
皮膚感作性：　モルモット　陰性　（区分外）
生殖細胞変異原性:既存のデータだけでは判断できない　（分類できない）
発がん性：　既存のデータだけでは判断できない　（分類できない）
生殖毒性：　区分 2 であるメフェナセットを 10%以上含む　（区分 2）
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：
区分される物質を規定量含有していない　（区分外）
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）：
区分 2（血液系、腎臓）であるメフェナセットを 10%以上含む　（区分 2）
吸引性呼吸器有害性：関連するデータなし　（分類できない）

## １２．環境影響情報

生態毒性　魚（コイ）：　$LC_{50}$　>1000 mg/L（96 時間）　（区分外）
甲殻類（オオミジンコ）：　$EC_{50}$　>1000 mg/L（48 時間）　（区分外）
緑藻類：　$ErC_{50}$　0.10 mg/L（72 時間）　（区分 1）
残留性／分解性：データなし
生体蓄積性：　データなし
土壌中の移動性：　データなし

## １３．廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

## １４．輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輌、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な 消火器、工具などを備えておく。

国連分類：　クラス 9（有害性物質）
国連番号：　3077(環境有害物質、固体)
容器等級：　Ⅲ
海洋汚染物質：　該当
緊急時応急措置指針番号：171

## １５．適用法令

農薬取締法：　該当
消防法：　非該当
労働安全衛生法：非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)：
　対象物質：メフェナセット　第一種指定物質　402 号
毒物劇物取締法：非該当

## １６．その他の情報

参考文献：製品安全データシート「ムソウ豆つぶ２５０」
（クミアイ化学工業株式会社 2012 年 11 月 9 日作成版）

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。